

「世界自閉症啓発デー」に当たっての 福島内閣府特命担当大臣メッセージ

本日、4月2日は、国連が制定した「世界自閉症啓発デー」です。
世界の皆さんとともに、この日を迎えることができ、大変喜ばしく思います。

この「世界自閉症啓発デー」及び8日までの「発達障害啓発週間」の期間中は、各地で様々な啓発活動が行われる予定であり、障害の特性や、障害のある方に対する必要な配慮等について、国民の理解が一層促進されることが期待される、大変意義深い期間であると思います。

政府は、障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現を目指して、国民の理解を促進させるための普及・啓発を始め、様々な施策を推進しています。

加えて、内閣総理大臣を本部長とする「障がい者制度改革推進本部」において、障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備を始めとする障害者に係る制度の集中的な改革を行うため、積極的な議論も進めているところです。

本日の「世界自閉症啓発デー」を契機に、政府としても、国民の理解の一層の促進を図るとともに、引き続き、福祉、医療、教育、就労など、様々な分野で総合的な施策の展開を図ってまいります。

平成22年4月2日
内閣府特命担当大臣
福島 みずほ